

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性膿胸のCT画像解析による手術適応の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月～2019年12月に当院で膿胸治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

急性膿胸、慢性膿胸の治療方法は抗菌薬の静脈注射投与、胸腔ドレナージが一般的ですが、改善が思わしくない場合は手術による胸腔鏡下洗浄ドレナージが非常に有効です。手術の侵襲的な治療を加えるには抗菌薬治療の効果を確認し、追加の画像評価などで呼吸器外科医が判断することが主です。呼吸器外科医が不在の施設では判断に難渋し積極的な治療の導入に遅れを生じると膿胸内のフィブリン化、多房化し治療期間、在院日数の長期化が避けられません。本研究は治療前の胸部CTに対して画像解析ソフトを用いることにより膿胸腔内部の画素値評価を行います。その評価をもとに今後の重症化、手術の必要性を予測、より積極的な外科治療選択を行い、入院治療期間を短縮、重症化を予防することにあります。胸部CTは一般病院でも撮像可能であり、画像解析ソフトを導入するだけで重症度予測が可能となりえます。地方などの呼吸器外科医がいない病院でも早期の判断を行い、積極的な外科治療の補助判断を可能となります。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2022年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録の中から研究に関する情報（対象薬物、投与量、手術内容）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間）および臨床検査項目（血液、生化学、CT）を調査項目とします

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座呼吸器外科部門） 氏名：南方 孝夫

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8588（医局）

研究責任者：

医学部外科学講座呼吸器外科部門（昭和大学病院） 助教 南方孝夫